

議会だより

平成25年

第86号

8月29日発行

村の宝



木造地藏菩薩坐像

所有者 禅定寺

像高70.1cm。檜材の寄木造り、彩色像である。円頂。白豪水晶の玉眼嵌入。三道も表され、衣の上に袈裟をつけ、左手に宝珠、右手に錫杖（今は失っている）をとり、左足を前にして安座し、その第一指を外方に反らしている。面貌は、目鼻立ちが下方に集まって頭の鉢が開き、少年風の風情がある。半眼に見開いた眼や強く結んで上唇のやや突き出し気味にまでなった口唇には、内省的な意思すら感じさせる。県内はもちろん、東国全体の13世紀中の彫刻にあって特筆すべき秀作である。



木造聖観音立像

所有者 禅定寺

法量長130cm。檜の一木彫、極彩色像で以前は目にもまばゆいものであったと思われる。本体は前後に矧ぎ、内刳をしてひ割れを防いでいる。顔は面長、豊頬で、両眼玉眼嵌入された眼は大きく見開いている。全体のプロポーションは五頭身の背丈で胸から腰にかけての調和の線が柔らかで優しさを感じさせる。額の髪際などから見ても室町末期の作と思われる。



キリシタン石塔

所有者 下樽川区

禅定寺の西方100mのところであり、台石・塔身・笠からなり、総高70cmで、塔身は宝篋印塔の基礎部を利用しているため上端が二段になっている。塔身部が宝篋印塔の基礎部のため＋（プラス）字形で四区に分けてあるため、キリシタン関係の遺品と考える人もいる。

今回から、「村の宝」をテーマに村指定文化財を表紙で紹介いたします。
今回は、下樽川「禅定寺」の文化財です。
記事の使用については、湯川村教育委員会の許可を得ております。

主な内容

- ◆ 6月定例会提出議案 P 2
- ◆ 一般質問（7議員が村政をたず） P 4～8
- ◆ 常任委員会報告 P 9
- ◆ 編集後記 P 10

第481回の6月定例会は6月13日から19日までの7日間の会期で開催されました。

村長から提出された条例や補正予算等及び議員提出の条例等の議案を審議し、すべての議案について原案のとおり可決されました。

6月17、18日の2日間に行われた一般質問には7人が登壇し、定住促進策、人・川・道の駅の地域振興策、少子高齢化問題等について、村の考えを問いました。

6月 定例会

6月13日～19日

(議決の結果)＜村長提出＞

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第41号	平成25年度湯川村一般会計補正予算（第3号）	25. 6. 19	原案可決
議案第42号	平成25年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	25. 6. 19	原案可決
議案第43号	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	25. 6. 18	原案可決

7月23日 第482回臨時会開催

この臨時会では、3議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

主な内容は、人・川・道の駅に建設される交流促進施設建設工事請負契約、地域振興施設建設工事会津産木材の取得についてであります。

(議決の結果)＜村長提出＞

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第44号	交流促進施設建設工事請負契約について	25. 7. 23	原案可決
議案第45号	地域振興施設建設工事会津産木材の取得について	25. 7. 23	原案可決
議案第46号	平成25年度湯川村一般会計補正予算（第4号）	25. 7. 23	原案可決

8月9日 第483回臨時会開催

この臨時会では、2議案が審議され、原案のとおり可決されました。

その内容は、人・川・道の駅に建設される地域振興施設建設工事請負契約、湯川村職員の給与等の臨時特例に関する条例についてであります。

(議決の結果)＜村長提出＞

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第47号	地域振興施設建設工事請負契約について	25. 8. 9	原案可決
議案第48号	湯川村職員の給与等の臨時特例に関する条例について	25. 8. 9	原案可決

6月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条第6項に基づき公表いたします)

議案番号	件名	賛否	1 高倉好博	2 山口啓子	3 斎藤賢一	4 小林昭	5 菅沼弘志	6 三沢豊隆	7 高橋重吉	8 小野淳一	9 小野澄雄	10 小林孝一
41	平成25年度湯川村一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
42	平成25年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
43	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長

* 賛成は「○」 反対は「×」 議長は裁決に加わらないのため議長裁決以外は「議長」と表記

一般会計補正予算審議！ 原案通り決定する。

「人・川・道の駅」に対する質問

問 「人・川・道の駅」の管理経費は、どの程度想定しているのか。

答 川の駅等の草地の管理費については、6,757千円、その他除雪・トイレ等を含めて、全体で16,328千円位を見込んでいる。
ただ、道の駅については、含まれていない。

問 管理経費については、毎年町村の持ち出しになるが、国県の補助金については、どの様になるのか。

答 除雪員のオペレータを要請している。

問 ソフト面でのスケジュールは。

答 法人定款を7月中に示したい。8月8日頃の登記申請を目指している。会社役員については、代表取締役を含めて3名を予定している。人選については、協議会にて行う。

問 出資者に対する利益配当は。

答 内部留保以外、売り上げの2%配当を考えている。
行政については、道路の整備（道の駅にアクセス）に寄付出来る様内部検討している。

問 道の駅での「湯川の里」の立場は。

答 「あじさいの手」の人達により、加工・商品開発等を進めている。「湯川の里」の活動を、道の駅に繋げていきたい。

問 「道の駅」のコンセプトは。

答 会津の中心地として、人的交流を図り、地域の魅力を発信していきたい。又、「川の駅」についても、親水公園の整備を考えていきたい。

問 「道の駅」「医療センター」等の利用にあたり、経由する交通弱者対策について、再度伺う。

答 巡回バス（乗物）の運行については、補助金も含めて今後検討する。

その他の質問

問 田んぼアート実施についての考えは。

答 当村においては、種子圃場があるため、実施箇所については制限がある。福島大学と、田んぼアートだけでない芸術祭などの研究を進めたい。

問 補正予算において、新規事業の計上が目立つ。計上の仕方について、考慮を求める。

答 新規事業については、当初予算に計上するように努める。

初議会を終えて

改選後の初定例議会が7日間の日程で開催されました。選挙選で村民の皆様へ訴えた政見を基に当局との論戦は、さすが厳しい選挙を経た議員ならではのものではあったと確信致しました。議会基本条例の理念は議会の使命を再確認し、議員自らの資質を高め、役割を再認識するというものです。特に委員会に於ける議員間討議、財政施策の徹底した議論を通じ村民の皆様にお約束した議会改革が、一步一步確実に目標に向かって進んでいる現状であります。

最後に議員は選ばれた責任を有することはもちろんであり、選挙民は選んだ責任を有するものと思います。議会広報、議会傍聴等を通じ議会のあり方等について、叱咤激励、御意見等を頂戴できればと、お願い致しまして、議長としての御報告とさせていただきます。

湯川村議会議長 小林 孝一

一般質問



高倉 好博 議員

問① 旧笈川幼稚園の利用について

①管理的にはどうなっているか。

②笈川幼稚園を備品などの物置として利用できないか。

答 村 長

多少の設備が入るスペースは確認されており、所管の教育委員会を通して相談されたい。なお、備品を一時的に置くことは大丈夫である。

③取り壊しの時期はいつごろか。

答 村 長

現在検討中であるため、

物置としての利用は取り壊しまでの期間となる。

また、アスベストが使用されているために取り壊しには、相当な費用がかかる予想されるため、時期は明言出来ないが、近いうちに実施したいと考える。



旧笈川幼稚園舎

問② 広報ゆがわの活用について

①他団体等の人材募集や広告の掲載に活用できるか。

答 村 長

文化団体やスポーツ団体関係及び各種団体においても所管等を通して依頼され

た原稿を広報に掲載している。要望しているクラブマネージャー募集の記事についても教育委員会を通じて原稿を提出されれば、掲載可能である。

②掲載記事の中で規制的な決まり事はあるか。

答 村 長

紙面のページ数の関係があるので、原稿の内容について事前に所管課と相談されたい。

③総合型地域スポーツクラブの教育委員会の中での存在について



総合型スポーツクラブ活動のようす。

答 村 長

湯川村における総合型地域スポーツクラブの「Myまいクラブ」については、教育委員会として全面的に協力して村民の健康づくりに寄与し、全面的に応援したいと考えている。



山口 啓子 議員

問① 子ども健全育成対策について

①子育て支援センター開設を少子化対策の一環として

答 村 長

子育て支援については、保健センターを中心に家庭訪問・健診等の受け方等の指導や、家庭内の悩み等にも対応し、母親が子育てに関して相談しやすい環境づく

答 教育長

保育所・幼稚園共に預かり保育・一時保育を充実させるとともに、子育て相談に応じたり、情報提供を行い積極的に子育て支援センターの機能を果たすよう努めている。

②笈川小学校前公園の活用がないため、ビオトープとし子どもの屋外の遊び場として活用できないか。

答 村 長

昨年除染作業を実施し、現状回復を基本として表土入れ替えを行なった。今後も村民の憩いの場所となるような公園づくりに心がけ、充分検討していきたい。

③幼児教育の基本について。今年の保育所の先生の異動で大勢の先生方が異動となったが、幼児は不安に思っている。

答 教育長

保育所では、丁寧な引き継ぎと受け入れ体制を整えること、全ての子どもをみんなで育てる方針のもと、担任以外の保育士が関わる保育場面を設定することから、子どもや保護者の不安を払しょくするよう努めているので、ご理解いただきたい。

問② 生産される野菜や米に付加価値を

来年度オープンする道の駅に並ぶ6次化産業加工品の販売品の開発について

答 村 長

湯川・会津坂下の米を原材料として、米粉食・パン・米粉麺・米粉クッキー・米粉ロールケーキなど昨年9団体から20商品が開発された。また、会津農林高校食品加工科で研究に取り組んでもらう予定である。



斎藤 賢一 議員

問① 教育環境について

①本村での道徳教育の取り組み、現状の教育内容、今後の計画について

答 教育長

道徳を教科化しなければ、道徳で習う目標が達成できないのかなど、クリアすべき課題が多いため、教育委員会として研修を進めながら注視していきたいと考える。本村では、指導のバラつきをなくすことを基本とし、確実に35時間の道徳の時間を確保する。各学級ごとに1回以上は保護者へ公開する。また、湯川村を誇りに思う郷土愛を育む教材の開発が出来ないかを、各学校に照会し研究を進めている。

② 児童通学路の交通危険個所の今後の改善策について

答 村 長

平成24年度に学校・警察・道路管理者等が連携し、通学路における緊急合同点検を実施し、対策が必要な12か所について、関係機関と調整を行いながら安全対策を積極的にとつていきたい。

③ 放課後児童クラブの預かり時間の早急な改善について

答 村 長

保護者からの要望もあるため、子どもの健全育成に充分配慮しながら、そのニーズに応えられるよう早急に対応を検討したいと考える。

問② 定住政策について

本村の空家対策と定住政策の今後の具体的な進め方について

答 村 長

空家調査を行い、空家バンクとして整備を急ぎ、空家改修補助金等の要綱も整備し、一人でも多くの村外の方が湯川村に住んでもらえるような支援体制づくりをし、情報発信をしていく。また、崩壊等の危険や、景観や周辺環境に悪影響を及ぼす恐れのある危険空家については、空家解体補助等も検討していきたい。

定住政策では、用地取得と更地造成までを村が行い、不動産業者に売却する方針を県と事前協議を重ねている。



放課後児童クラブのようす

問① 農業問題について

①地産地消や食の安全を重視した地域づくりの重要性とTPP問題との関連性について

答 村 長

湯川村地産地消推進事業において、村内の3つの関連施設へ米と味噌を供給するための事業を実施しており、また、学校給食でも村内コシヒカリを提供している。今後は、福祉施設等へ村産農産物を供給する流通ルートづくりを模索しながら、安全で安心して消費できる農産物の振興と地産地消の取り組みを一層進め、採算拡大に繋げていきたい。



小林 昭 議員

②施設園芸や農業資材に対する助成等について

答 村 長

湯川村農業施設資材購入事業により園芸作物用農業施設の整備費に、予算の範囲内において補助金を交付し、農業者の安定経営と農業振興を図っていくこととし、冬期間の農業経営の安定化と改善を推進していきたい。

③農地に対する除染について

答 村 長

水田については、平成24年度に10キロ/10a、平成25年度には20キロ/10aのケイサンカリの散布を全農家にお願した。その結果放射能の基準値を超える米は検出されなかった。畑作物も検出されなかった。今後、補助事業を活用し、放射能の吸収抑制対策を講じていく。

問② 交通弱者 対策について

会津医療センター開設による巡回バスやタクシー代助成等の交通弱者を救う道について。

答 村 長

過日、高齢者の交通手段に関するアンケートを実施したが、交通手段に不便を感じている高齢者は回答者全体の34%だった。高齢者の足の確保についてどのような方法がよいか早急に検討したい。

問③ 定住促進事業 について

現在大型事業が進められているなか、定住促進事業も加った場合の村の財政負担及び、村民に負担をかけるか、ないような事業を進めていくのか。

答 村 長

「人・川・道の駅」拠点整備事業では、国県補助、

過疎対策事業債を出来る限り充当しており、庁舎建設事業も約5億円の庁舎建設基金を主財源とし、村の一般財源充当をなるべく少なくするよう担当に指示している。

定住促進事業では、用地取得から更地造成までを村で行い、それを民間に売却し販売してもらう方法を県と協議中で、事業執行には地域振興開発促進基金を活用していく。



小野 澄雄 議員

問① 医療センター開院と湯川村の振興策について

①村民の健康づくりや産業振興のため、医療センターとどのような連携活用を考えているか。また、振興作物に薬草等を導入し漢方内科と連携していく考えはあるか。

答 村 長

医療センター自体が開院したばかりでまだ正式軌道に乗っておらず、まだ今のところ連携には至っていないが、漢方ケアや介護、各種健康教室等の疾病予防に繋がるよう情報収集に努め連携をとっていききたい。

答 村 長

②交通弱者対策として各集落と道の駅・医療機関とを巡回する乗り物の今後の対策について

4番小林昭議員の答弁を



開業となった会津医療センター

参照。通院と買い物が可能になるような高齢者の足の確保について早急に検討していきたい。

答 村 長

八日町地区は地域営農体系の維持に配慮し、調査・検討、計画的な調整をしつつ、今後村の振興につながる村土の有効利用を慎重に図っていききたい。

問② 「人・川・道の駅」拠点整備事業のソフト面の対応状況について

答 村 長

①管理運営法人への出資金状況と出資者の責任範囲と公的支援の在り方について

現時点で湯川村・会津坂下町合わせて12企業・団体から出資の意思表示をいただいている。今後ご理解

ご協力をいただけるよう丁寧な説明をしながら一つでも多く出資賛同いただけるよう努めていく。

②テナント出店や農産物販売組織等の経営・運営・特産品開発等の現状について

答 村 長

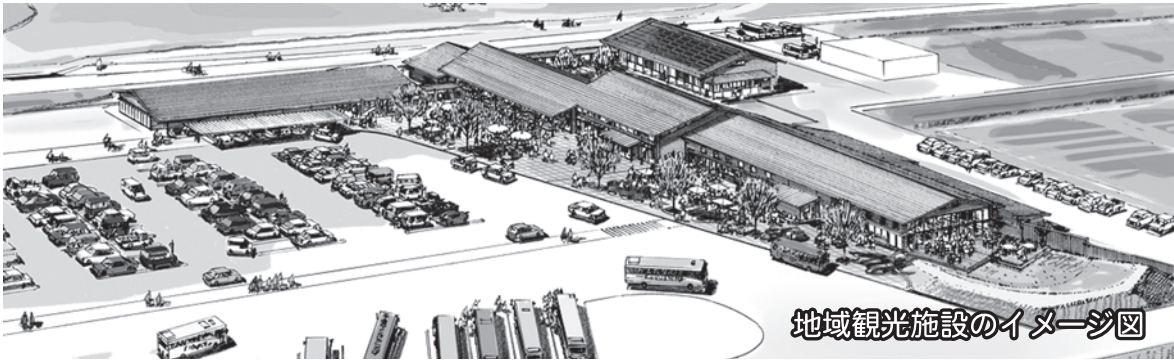
6月末を目途に出店業者の絞り込みをし、道の駅運営会社設立後に契約締結できよう準備を進めている。一方、農産物販売組織は、6月に第1回の勉強会を開催する予定で、今後も定期的に開催し農産物販売組織立ち上げに協力していきたい。

③会津坂下町と共同開設する首都圏アンテナショップとの関連性について

答 村 長

農作物・特産品の販売拡大と6次化産業の振興による商品開発、市場調査のため会津坂下町と共同でアンテナショップを開設し、道の駅や観光PRも含めた両

町村の魅力発信地として活用していきたい。



地域観光施設のイメージ図



菅 沼 弘 志 議員

問① 保護者から特に土曜保育の要望が多く挙がっているなかでの幼稚園預かり保育について

①幼稚園保育の現状について

答 教育 長

園児88名のうち62名が登録、うち50名が通年登録となっている。時間は午後1時30分から午後6時までが大部分で、6時30分までの利用者は5名前後である。教諭は計3名で対応している。

②保護者ニーズの把握について

答 教育 長

毎日の連絡ノートや保護

者アンケートにおいては、今のところ預かり保育への新たな要望はみられていないと報告を受けている。

③土曜日保育の可能性について

答 教育 長

学校教育法施行規則により土曜日は休業日となっているため、土曜保育は想定していないが、保護者ニーズが多くなれば長部局と連携して総合的に検討しなければならぬと考える。

問② 年々増加する崩壊等の危険や景観や周辺環境に悪影響を及ぼす恐れのある危険空家対策について

①村内における空家の現状と課題について

答 村 長

平成23年度の基礎調査で32棟の空家の所在を確認したが、殆どの空家が改修が必要なものであり、空家改

修補助等の制度を整える必要があると考える。3番斎藤賢一議員の答弁を参照。

②老朽化した危険な空家の対策について

答 村 長

空家所有者への解体工事補助や建替え補助等、村で支援できる方策を検討していく。

問③ 大規模経営体育成事業について、村単独事業のメリットを生かすことと面積要件の再考について

答 村 長

今後、経営規模の拡大を図り、効率的な農業経営をしていくことが重要であり、そのために農地を集積し、農業機械も大規模化しながら足腰の強い経営体を築いていくことが課題と考える。国においても20～30ha規模の経営体の育成を目標としているため、ご理解をいただきたい。

子どもを安心して産み育てることができるよう相談所の提供、健全育成事業など子育て支援と母子保健事業を展開し健康づくりを応援していく。また、子育てと仕事が両立できるように保護者ニーズに対応していく。さらに、子どもがたくましく心豊かに育つよう、地域ぐるみで協力しながら子育て環境を充実していきたいと考える。

一方、高齢者が個人の尊厳を保持しながら住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるよう、介護予防や

答 村 長

問①
人口3800人を目標にしているなかで、人口減少・少子高齢化における湯川村の現状と課題について



三澤 豊隆 議員

生活支援などの施策の充実と、保健・福祉・教育の各分野が一体となって健康づくりや生きがいづくりに努めていきたい。

一方の高齢化への対応は、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを志向する生涯学習の推進の観点から成人教育・女性教育・高齢者教育の在り方を現在進め

答 教育長



ており、参加ニーズを踏まえて学習メニューのスクラップアンドビルドを進め改善していく必要があると感じている。

9番小野澄雄議員の答弁参照。

「人・川・道の駅」は湯川村・会津坂下町のみならず会津地域の経済規模拡大と地域活性化に繋がる拠点施設として整備を進める。これまでの米中心農業から野菜や加工品を出荷したいと考える農家も増えているため、協力を求め活性化に繋げたい。

また、県で整備予定の自転車道では、無料自転車レンタルの整備を図り、勝常寺を中心として村内に誘客し村の活性化を図る。

答 村 長

問②
「人・川・道の駅」の地域振興策として、村は何を発信し、何を売るのが、また、生産体制をどう育成するか、村全体の波及効果への期待について

「人・川・道の駅」の地域振興策として、村は何を発信し、何を売るのが、また、生産体制をどう育成するか、村全体の波及効果への期待について

村民(傍聴人)の声

いま、様々な点で、村政の体質・方向が大きく変わろうとしているように見えます。

「道の駅」関連事業で約7億、その他の新規事業と併せると平成24～25年の予算によれば、この二年間で新たに起こす借金は11億円に上り、村債の「現在高」は予算の数字上では23年の13億円から一挙に29億円に増えることになります。

問題は、これだけの大規模な予算(税金)を投じて行う事業が、どんな「目的」で実施するのか、また、そこからどんな「行政効果」が生まれ、それが、村民にどんな形でどの程度還元されるのかと言うことではないかと思えます。地域商店と競合する危険が心配されます。

そして多くの村民は「運営赤字が出る心配はないのだろうか」「施設全体の経営責任は明確になっているのだろうか」「膨大な投資が今後の村財政に支障をもたらすことはないのだろうか」等々…、疑問と心配を心の内部で交錯させながら施設建設の推移を見守っているのではないのでしょうか。

二番目の問題としては、「村の農業を今後どうすればよいのか」と言う課題に直面しているのではないかと考えています。村の農地をどう守るのか、今後、誰がどんな形で担っていくのか、地域の実情に合った具体的な方策、日本の農業と農地を守る立場からの真剣な検討が求められているのではないのでしょうか。議会でも是非、緊急にこの問題を取りあげて議論をすすめて欲しいと願っています。愛する湯川村の動向については、常に私の頭から離れることはありません。

吉田 恒雄

経済常任委員会報告

在京湯川会出席・国会陳情活動

6月30日～7月1日にかけて議員9名で東京方面へ行ってきました。

初日の6月30日(日)は、午後4時30分から在京湯川会の総会へ出席し、4年ぶりに会員の方々の懐かしい顔とお会いすることが出来ました。

副議長が、議長の代理として(議長が故竹内豊俊前会津坂下町長の告別式に出席したため。)から4月に行なわれた村議会議員選挙で初の女性議員が誕生したことなどを盛り込みながら、祝辞を述べました。総会終了後には懇親会にも参加させていただき、我々議員も各テーブルを回り、自己紹介を含めながら会員の皆さんと和やかに親睦を深めてきました。

翌日の7月1日(月)に

は、陳情活動のため永田町へ向かいました。農林水産省及び消費者庁、更に本県選出国会議員へ村と議会の連名による「TPPへの交渉参加の断固反対」と「原発事故による風評被害の払拭」を求める要望書をそれぞれ手渡ししてきました。

参院選直前ということで、残念ながら各担当大臣も県選出議員にもお会いすることは出来ませんでした。衆議院議員の菅家一郎先生の秘書の方にすべて対応していただき、スムーズな陳情活動が出来ました。

今後とも機会があれば、住みよい村づくりのために中央への陳情活動を積極的に行ないたいと思います。

経済常任委員長

斎藤 賢一



消費者庁長官へ陳情



在京湯川会総会

総務文教常任委員会報告

会津医療センター視察

去る7月10日、総務文教常任委員会ではこの5月11日に開院した県立医科大学会津医療センターを視察しました。

高度医療や教育研究機能を備え、会津地方におけるへき地医療支援を担うという分野での期待が高まっています。

一方ではこれまで会津地方にあった二つの県立病院の産婦人科、小児科、精神科が診療科目からなくなることへの不安が、議会質問の中でも度々危惧されています。

開院してからまだ間もない「会津医療センター」が近隣の民間病院との連携、分担も含めて公的医療の果たす役割を痛切に感じた視察となりました。

最上階からは、東に磐梯山、西に八日町地区をはつきりと見渡せる施設として一見する価値がありそうです。

総務文教常任委員長

菅沼 弘志



会津医療センター視察

湯川村議会の主な動き

5月7日	第480回議会臨時会（改選後初議会）
10日	両沼町村議会議長会臨時総会
14日	会津若松土地開発公社監査
18日	笈川小学校運動会
22日	湯川村商工会通常総会
23日	広報編集委員会
25日	勝常小学校運動会
27日	会津総合開発協議会定例総会
28日～29日	全国町村議会正副議長研修会
6月3日	議会全員協議会
5日	議会運営委員会
6日	県町村議会議長会定期総会
8日	第1回会津中央薬師杯グランドゴルフ大会
10日	会津線棟対策協議会総会
13日～19日	第481回議会定例会
22日	交通安全湯川分会総会
23日	消防協会会津坂下支部幹部大会
26日	老人クラブフロアカーリング大会
27日	両沼地方町村議会議長会臨時総会
30日	在京湯川会総会 竹内晃俊前会津坂下町長告別式
7月1日	国会議員・省庁陳情活動
2日	県職員大沼会・河沼会合同懇談会
5日	議会全員協議会 広報編集委員会 会津総合開発協議会県要望活動
10日	総務文教常任委員会、会津医療センター視察
15日	村民芸能発表会
17日	議会運営委員会
23日	第482回議会臨時会
26日	第29回両沼地方町村議会議員大会
27日	ゆがわ幼稚園夕涼み会
28日	日橋川川の祭典
31日	湯川村青少年問題協議会 湯川村青少年育成村民会議



▲6月定例会において道の駅造成地を視察



ゆがわまいちゃん アスパラくん ニ輪菊シスターズ

議会広報編集委員

山 斎 菅	小	小	委員
□ 藤 沼 委	林	副	野
啓 賢 弘 員	昭	委員	澄
子 一 志	昭	長	雄

立秋とはいえ、記録を更新する連日の「猛暑日」に熱中症、水難事故が相次ぐ日本列島。更には、ゲリラ豪雨等、異常天候が世界的規模で年々益々進んでいます。県立医療センターも開院され、「人・川・道の駅」もオープンに向けて、造成工事も着実に進んでいます。

本村を取り巻く環境の変化には、目を見張ります。村民全員が、利便性を享受できる為にも、田舎のたくましさ、したたかさを、熱いエネルギーとして、持ち続けたいものです。

新広報委員による「議会だより」をお届けします。議会活動・議会の審議内容をつぶさに伝える紙面づくりに努めて参ります。更に、新しく設けた「村民の声」の欄では、皆さんのご意見を拝聴しながら、身近な議会・頼れる議会を目指してまいります。どうぞ宜しくお願いします。（澄）

編集後記